

ティーチング・ステートメント

所属 東京都市大学外国語共通教育センター

名前 及川邦裕

専門分野：外国語教育 担当科目：Reading&Writing /Grammar

作成日 2021 年 9 月 22 日

【責任】

私は外国語共通教育センターに所属し、教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は 1 年必修科目の Reading & Writing と選択科目の Grammar であるが、英語に関する学習相談に個別に対応している。外国語学習は、外国語という手段を通してコミュニケーションをはかるという一次的目的はあるものの、ゴールは人間の理解そのものにある。4 技能 (Reading, Listening, Writing, Speaking) という我々が持つコミュニケーションツールを利用して、人と人との関係づくりに貢献するのが言語の役割である。

【理念】

私の理念は、次の 3 点である。

1. 人とのつながりの大切さを伝える。(方針 A)

人は家族やコミュニティーの一員として、お互いに影響を与え合いながら社会生活を営んでいる。喜びを分かち合い、困難を助け合いながら乗り越えることの価値を地球規模で共有できる意義を伝えたい。外国語教育は地球規模で物事を客観視する機会を与え、また、意義の理解を通して自分自身を成長させることができる。

2. 共生社会の実現に取り組める人材の育成に努める。(方針 B)

ハンディキャップを持った人や劣悪な環境で生活を余儀なくされている人など、様々な状況や状態にある人と分け隔てなく支え合い、その能力を認め合い社会に貢献できる環境を作ることに関心を持ち、共生社会の実現に尽力できる人材を育成する。

3. 思考力と判断力を備えた学生を育成する。(方針 C)

パンデミックや地球温暖化など世界規模で対処しなければならない課題が数多くあり、今後も新たな課題に直面することが予想される。そんな時どのように考え、どのように行動したらよいかを冷静かつ正確に判断する力が求められる。そのような課題に果敢に立ち向かう思考力を学生には身に付けてもらいたい。そのためには自分の主張を論理的に説明し理由を述べ相手に納得してもらえることが必要不可欠の能力である。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、以下の A～C の方針で教育を行っている。

方針 A「社会で生活することの意義を理解する」

授業では各時間のテーマに関して学生から一対一で自由な意見や経験を聞くようにしている。学生の意見に対してコメントを与えるのではなく、質問を通して考えを深め、他の学生と考えを共有している。質問は主に Why・How・What で進行し、答えは具体例を出すように指導している。

方針 B「多種多様な考えを聞いて深い理解する」

各時間に設定したテーマが学生に身近な出来事と関連付けられるような話題を教員が提供し、理解することから始め、授業ではペアワークとグループワークを取り入れ学生同士の意見交換を頻繁に行っている。学生どうしの意見交換によってテーマについて深く考え、様々な意見を出し合い認め合いながらテーマの理解につなげている。

方針 C「自己の考えを整理する」

授業で扱った内容をレポートとして毎回まとめる作業を課している。パラグラフライティングで論理的に主張を説明できることを必須条件としている。クラスメイトの考えやテキストの内容を踏まえて思考を整理する時間を与え、考えを書きそれに対してコメントを付して返却している。

【評価・成果】

<方針 A> 授業評価アンケートの自由記述で肯定的な回答を得ている。

例えば、テーマに対して自分の意見を述べるのは難しいが、やりがいがあるし他の学生の意見を聞くのはとても参考になる。

<方針 B> 意見内容がバラエティに富むようになった。思考する習慣が徐々に身につき学生の自主性が芽生えていると思われる。

<方針 C> 試験やレポートの内容が向上した。意見が単一ではなく様々な視点からテーマをとらえるようになってきた。また、自分の主張の根拠を論理的に示せる学生が増えた。

【目標】

<短期目標>

- ・パフォーマンステスト (speaking) を実施する (2021 年度中)
- ・SDGs に関する研修に参加する (2021 年度中)

<長期目標>

- ・グループ研究発表を行う。(テーマを学生に選定させプレゼンテーションを行う)

【添付資料】

都市大スタンダード 2.0、シラバス、学生アンケート、レポート、開発教材